



# 校報 絆

(きずな)

紀の川市立安楽川小学校

令和4年度「共育座談会」12月特別号

令和4年12月15日

〈合言葉〉「みんなでつくる みんなの“安小”」

文責：校長 原 寿宏

11月18日（金）、第3回「共育座談会」を開催。保護者の方15名、地域の方21名、本校教員20名に加え、市教委からも2名、過去最高となる計58名が参加しました。まず最初に、クラブ活動の様子を収録した動画を視聴。昨年度から手話を、今年度からは新たに大正琴と絵手紙を、それぞれ地域の方にご指導いただいています。その様子をご覧ください。

次に、先進地視察ということで、山口県光市の小学校2校を訪問し、学んできたことを担当より報告させていただきました。

その後、橋本市家庭教育支援チーム“ハスティア”のメンバー3名の進行のもと、8つのグループに分かれ、「みんなでつくるみんなの学校・みんなの地域」をテーマに、まずは「安小の子供はどんな子供に育ててほしいか」、「どんな安小・地域になっていけばいいのか」、また、「そのためには、どうしていくことが必要なのか」ということについて“熟議”しました。

## ◆「熟議」とは◆

- ① 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
  - ② 課題について学習・熟慮し、討議をすることにより、
  - ③ 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
  - ④ 解決策が洗練され、
  - ⑤ 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる、
- という、このプロセスを“熟議”と呼んでいます。

各班のまとめと、参加して下さった方々の感想(一部抜粋・順不同)を紹介させていただき、みんなで「共育座談会」を共有したいと思います。参加された皆さんの“熱量”を感じ取っていただければ幸いです。

## ◆各班「熟議」の足跡です！

「どんな子供に育ててほしいか」「どんな安小になっていけばいいのか」については、「スクールプラン」に示している右記の内容と概ね合致するご意見をいただきました。

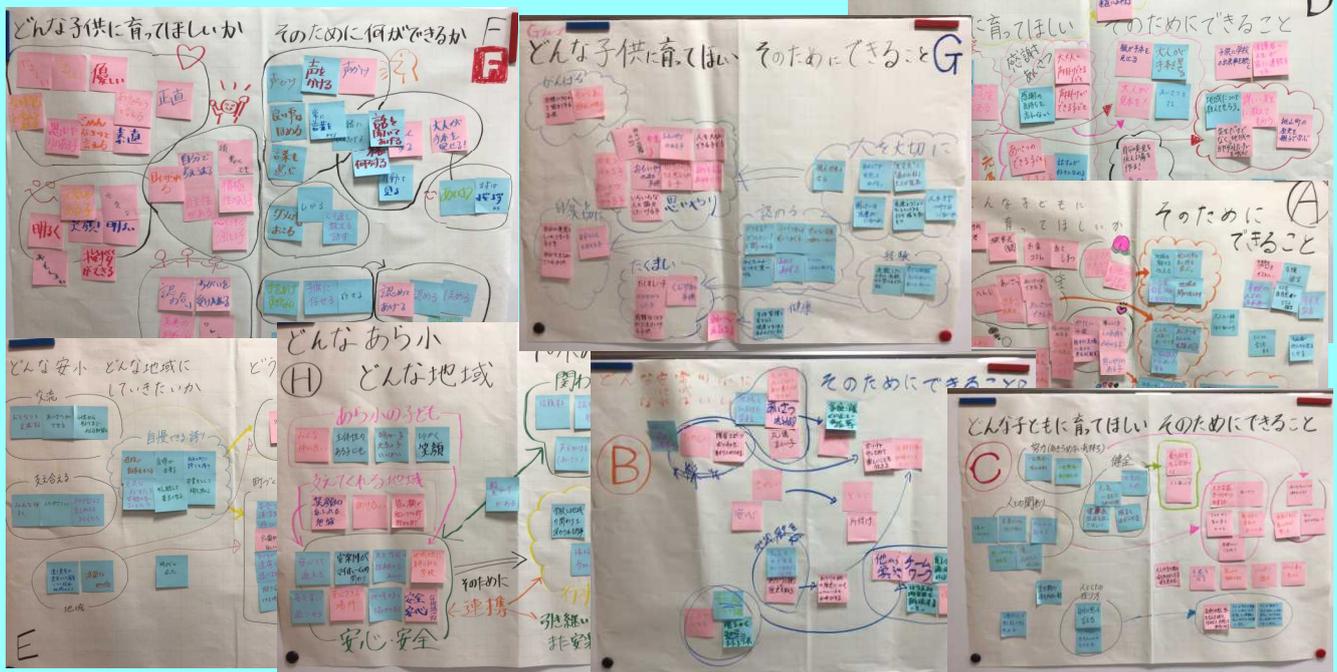
今後、各グループで話し合っていた内容を改めて学校で整理し、「育てたい子供の姿」「めざす学校の姿」に反映させ、より“みんな”のものとして共有していきたいと思えます。

## ◆育てたい子供の姿◆

- ・夢と希望を持ち、自ら進んで学習に取り組む子供
- ・自分も友達も大切に、思いやりのある子供
- ・心身ともにたくましく、ねばり強く挑戦し続ける子供

## ◆めざす学校の姿◆

- ・子供たちが自慢したくなる学校
- ・家庭や地域から信頼される学校
- ・活力ある地域コミュニティづくりに貢献する学校



◆どのグループからの意見も、日頃、自分が感じていたことだったので安心しました。◆今年も参加できて良かったです。地域の方々とのつながりのある安楽川小学校なので、安心して子供を通わせることができていると思います。これからも積極的に参加して、自分も成長していきたいと思えます。◆みんな思うことは同じということが分かり良かったです。◆いくら良い意見が出て実践できなければ絵に描いた餅。是非とも何かしら実現できるよう頑張りましょう。会自体は最高でした、来年も参加します！◆各グループの意見を聞いて、目指す所は同じなんだなあと思いました。大勢参加していて良い企画だと思いました。◆来年も参加したいです。学校は子供だけの学校ではなく、保護者の交流の場としても重要だと思います。座談会は継続していただきたいと思えます。◆楽しい時間をありがとうございました。◆地域と学校をつなぐ機会となりました。昔のように気軽に子供に声を掛けにくい世相もある中、出された意見を踏まえ新たなつながりをつくっていくことが必要だと実感しました。◆地域の方、様々な立場の方の意見を聞くことができ大変参考になりました。堅苦しい会なのかと身構えて参加しましたが、充実した楽しい会でした。実現させたいアイデアがたくさんあったので、是非、子供・学校・地域が一体となって取り組んでいけると良いなと思えます。◆地域の方と学校(先生)をつなぐ場をつくれていることがすごいと思えます。子供と地域をつなぐ取組もたくさん考えていきたいと思えます。◆今回初めての参加でしたが、子供たちや学校、地域について色んな意見を聞くことができ、また、改めて子供のことを考える良い機会になりました。◆クラブ活動の動画を視聴して、子供たちが取り組んでいることを知ることができて良かったです。育友会行事に子供が参加したいと思っているようですが、自分が仕事だったりで参加させてあげられないのが可哀想に思っています。コロナ禍の折、人数制限等制約も多いと思えますが、子供たちみんなが楽しめるような工夫が必要かも。色々意見交換の場は必要だと思えました。◆初めて参加しましたが、皆が安楽川小学校の子供たちが大好きだということ、地域の方々とのつながりが大事だということが分かりました。◆ワークショップの最初にした“アドジャン”(緊張をほぐすゲーム)をすることで、場の雰囲気が和んで、活発な意見交換の場になり、思いを共有する良い機会となりました。◆社会福祉協議会としても、学校、地域とつながっていきたくて思っていますので、共に歩んでいきましょう！◆こんなにも大勢の方が安楽川小学校に関わっているということが分かり、また、先生方の人柄にも触れることのできる貴重な一日でした。◆参加させていただきありがとうございました。たくさんのことを学ばせていただきました。◆素敵な意見がいっぱいでした。子供たちが守られ、安心安全な街づくりはみんなが願っていることです。◆日々、仕事に追われていますが、子供や地域のことを真剣に考える時間が久しぶりに持てました。グループ討議に楽しく参加できて良かったです。◆日頃は何気なく接している子供たち・安楽川小学校について、改めて「こうしたい」という理想を思い描く良い機会になりました。◆保護者全員が参加しての座談会になれば、もっといいのになと思えます。◆毎回参加させていただいていますが、回を重ねるごとに活気溢れる会になってきていると思えます。この“熱量”で今後も続けていけたら良いと思えます。◆普段の生活の中では触れることのない活動をクラブ活動に取り入れていて新鮮でしたし、有り難いことだなと感じました。地域の皆さんが温かく見守ってくださっているからこそのことだと思えます。また、“熟議”など自分自身、初めて聞く言葉もあり勉強になりました。これかも子供たちの笑顔の絶えない安楽川小学校が続くようお手伝いできたらと思えます。貴重な体験をありがとうございました。先進地視察の報告にあったように、小中一貫の取組があれば、中学校への見通しが持てていいのになと思えました。

◆“熟議”の雰囲気・熱量を感じ取ってください！◆



和やかに、かつ、真剣に!